

学びを主体的に自分や家族の生活につなげる児童の育成

－「問題を見いだし課題を設定する」学習過程の具体化を通して－

特別研修員 家庭 金子 由季（小学校教諭）

児童の実態

○単位時間の中で、自分の生活に必要なことを考えたり、家族に合わせて工夫したりするなど、学習と自分や家族の生活をつなげて考える場面が少ない。

教師の願い

○どのようにしたら家族が喜ぶか、より暮らしやすくなるかなど、家族の一員として学習と自分や家族の生活を関連付けて学習してほしい。

<学習過程> 題材名「思いを形にして生活を豊かに」（第6学年）

【手立て1】児童の思いを引き出す

「できるようにになりたい」「知りたい」などの思いを引き出す活動を取り入れる

見本の観察 ・インタビュー
アンケート ・既習事項の振り返り など



入れる物や使う場面を明確にして作成した見本のバッグ



私はショルダーバッグを作りたいな。

どう縫ったら袋になるか知りたいな。

1. 題材の課題を設定する

問題を見いだす

題材の課題設定

学習計画

【手立て2】児童の思考を整理する

児童が「題材の課題を設定できるよう、手立て1の活動を基に、児童の思考を整理する

⑦「できること」「分かること」を整理する

⑧「できるようにになりたいこと」「知りたいこと」などを明確にする



ポケットはエプロンのとこと同じだから付けられるよ。



内側のポケットの付け方が分からないから、知りたいな。

児童の思考を整理した板書

思いを形にして生活を豊かに		⑧ <題材の課題>	
⑦ 見本を見てどんなものを作りたいか考え、学習課題・学習計画を立てよう。		⑧ <題材の課題> 使う人に合った大きさや形で、丈夫で便利なバッグを作るにはどうするとよいか。	
⑦ ア	⑦ イ	⑧ <学習計画>	
できる・分かる	できるようにになりたい・知りたい	○どんなバッグを作りたい？	
・ポケット	・2枚の布を使う	・便利	
・持ち手	・底の作り方	→ちよどいい大きさ	
予想・長い持ち手は一本のひも		・持ちやすい	
・裏にしてぬう→ふくる		・ショルダー	
		→使う人に合った	
		・丈夫	

⑨「なぜ」「誰のために」など学習目的を明確にする

どんなバッグを作りたいですか？

・いつでも持ち歩いて便利なバッグ。
・いっぱい入るバッグ。

全員がいっぱい入る大きいバッグを作りたいのかな。

使う人や入れる物に合ったサイズのバッグがいいです。

誰のためのバッグを作りたいですか？

妹が出かけるときに使うバッグを作りたいです。

2. 実践的・体験的な活動

3. 家庭での実践

⑩整理したことを基に題材の課題を設定する



題材の課題はどうなりそうですか？



<題材の課題>使う人に合った大きさや形で、丈夫で便利なバッグを作るにはどうするとよいか。

単位時間ごとの児童の姿

振り返り



妹が使いやすいよう、持ち手の長さを妹に確認しよう。



妹に合った大きさのバッグが作れて、喜んでもらえてよかった。

次は自分が習い事で使うバッグを作りたいな。

4. まとめ振り返り

学びを主体的に自分や家族の生活につなげる児童

成果

○児童の思いを引き出し、児童の思考を整理しながら題材の課題を設定したことで、自分や家族の生活がよくなるよう、必要なことを選択したり、家族に合わせて自ら課題解決に向かう姿が見られた。

課題

○題材全体を通して学びと生活をつなげる意識が継続するよう、単位時間の導入で題材の課題を取り上げたり、題材の課題に立ち戻って振り返りをしたりする場面を充実させていく必要がある。